

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 2 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議の開催が少なく、今後は参加者から、意見やアドバイスをうまく引き出せるよう期待したい。	①2ヶ月に1回、運営推進会議が開催できるようにする。 ②参加者から意見やアドバイス等の助言を頂き、質の高いサービスを提供出来るようにする。	①現在6ヶ月に1回開催している。運営推進会議を平成22年6月より2ヶ月に1回、開催できるように行政の担当者と調整中である。 ②運営推進会議のメンバーに専門的知識を要している方を配置しアドバイス等を、引き出せるように改善する。	4ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や終末期に関して具体的指針を示し、職員教育の充実などの取組みに期待したい。	①重度化や終末期ケアに関して全職員が知識を持つことで、本人及び御家族等安心して暮らすことが出来る。	①重度化、終末期ケアに関して職員個々の意識及び知識のレベルアップが図れるよう、施設内外での研修を行い重度化・終末期ケア時に適切に対応できるよう取り組んでいきます。	12ヶ月
3	2	事業所と地域とのつきあい 管理者が公民館などへ出向き認知症について啓発活動を行っているが、更に近隣住民や地域の方々が気軽に来訪できるような場になることを期待したい。	①啓発活動を行うことで、地域住民が認知症を理解し、来訪しやすくなる。 ②地域資源や地域の情報を共有する事で近隣住民との交流が更にできるようになる。	①近隣住民が来訪しやすい環境を作るため、地域で認知症ケアの啓発活動(散歩・地域交流・勉強会)等を積極的に行う。 ②運営推進会議のメンバーに新規で公民館職員を配置予定、地域資源及び地域の情報を共有できるようにする事で、地域住民が来訪しやすい環境が作れるのではないかと考えている。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。